

もりやま 市議会だより



No.164

2022年2月1日

市制施行50周年 がんばろう守山



勇壮！ 800年の奇祭

勝部の火まつり

12月定例会会議

予算案件(補正予算(6億611万円)他)、条例案件6件、
その他案件6件、報告案件1件

12月の定例会会議では、新型コロナウイルス感染対策に加え、経済対策、
子育て環境整備に関する内容等の予算が審議され、可決しました。可決され
た条例について記載致します。(一部抜粋)

JR守山駅東口における新施設整備等に関する具現化方針等 株式会社村田製作所研究開発拠点 一般財団法人守山野洲市民交流プラザ(ライズヴィル都賀山)整備事業

村田製作所(令和7年完成予定)

事業内容: 製品開発や製品応用等にかかる研究開発の拠点
投資額: 約128~200億円(建物・償却資産含む)
雇用人数: 1,000人~1,600人
建築面積: 32,000㎡~50,000㎡
建物高さ: 100mを上限とする。(グランドメゾン約42m)

新都賀山荘(令和4年秋)完成

移転場所: 現在の公衆トイレ位置
設備: 会議室、貸事務所、レストラン



新型コロナウイルス感染症対策費の補正

- 住宅・店舗・施設改修助成金の補正 **1,300万円**
- セーフティネット資金利子補給金の補正
中小企業者の資金繰り支援として県制度融資、信用保証料助成を利用したものに対し支払い利子の一部を補助
(利用: 149件)
- 利子補給率 年1.0%以内 • 利子補給期間 24月以内
- 上限 1事業者あたり1年目 **20万円**、2年目 **20万円**
- 市民交流センタートイレ改修事業費の補正
トイレの洋式化および設備の非接触化、バリアフリー化 **3,858万円**
- 小中学校修学旅行キャンセル料支援に係る補正 **218万円**

議員からの
意見

申請の際チェック体制も
しっかり行ってほしい

新型コロナウイルスワクチン追加接種費用の増額補正

3回目のワクチン接種の実施にあたり必要となる集団接種の費用を増額補正するもの
個別接種(ファイザー社製)/集団接種(モデルナ社製ワクチン) **6,354万円**

臨時特別給付金の補正

住民非課税世帯等に対する臨時特別給付金の補正

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、住民税非課税世帯への支援として臨時特別給付金を支給
するもの **7億4,500万円**

子育て世帯への臨時特別給付金の補正

新型コロナウイルス感染者の影響が長期化する中、高校生までの子どもがいる子育て世帯への支援として臨時
特別給付金を支給するもの **8億3,275万円**

デマンド乗合タクシー運行補助金の増額補正 150万円

放課後児童クラブ施設整備に係る補正

- ・玉津児童クラブ室増築設計 **363万円**
- ・民間児童クラブ室整備補助(立入が丘) **405万円**

ふるさと守山応援寄附金の補正

ふるさと守山応援寄附金の収入額が見込みを上回ることから、基金への積立金および返礼品等の必要経費を増額するもの **1億4,979万円**



今後も魅力ある内容で進めてほしい。

障害者自立支援金給付費や児童手当等の各種給付費の補正

- ・障害者自立支援給付費 **5,750万円**
- ・障害児通所サービス給付費 **1億500万円**
- ・児童手当 **992万円**
- ・生活保護費 **1億329万円**

11月臨時会議

令和3年度守山市一般会計補正予算

新型コロナワクチン追加接種費用の増額補正 **5,170万円**

2回目接種から概ね8か月以上経過した対象者に3回目の接種を行うための費用を補正するもの。
追加対象は、22,000人を想定

守山野洲市民交流プラザ(ライズヴィル都賀山)の物件移転補償関連業務を専門業者に委託する為の補正 **300万円**

委員会および会派等の構成 (令和3年11月1日～)

常任委員会等

総務常任委員会

〈委員長〉西村 弘樹
〈副委員長〉赤淵 義誉
〈委員〉藤木 猛／高田 正司／森重 重則
／石田 清造／今江 恒夫／
藤原 浩美／酒井 洋輔／川本 航平

文教福祉常任委員会

〈委員長〉山崎 直規
〈副委員長〉福井 寿美子
〈委員〉森 貴尉／筈井 昌彦／小牧 一美
／小西 孝司／石田 清造／
渡邊 邦男／田中 尚仁／藤原 浩美

環境生活都市経済常任委員会

〈委員長〉國枝 敏孝
〈副委員長〉酒井 洋輔
〈委員〉高田 正司／森 貴尉／筈井 昌彦
／小牧 一美／新野 富美夫／
森重 重則／渡邊 邦男／川本 航平

議会運営委員会

〈委員長〉小西 孝司
〈副委員長〉山崎 直規
〈委員〉森 貴尉／筈井 昌彦／小牧 一美
／國枝 敏孝／赤淵 義誉

特別委員会

公共施設調査特別委員会

〈委員長〉今江 恒夫
〈副委員長〉藤原 浩美
〈委員〉高田 正司／筈井 昌彦／
森重 重則／渡邊 邦男／
田中 尚仁

子育て支援対策特別委員会

〈委員長〉福井 寿美子
〈副委員長〉酒井 洋輔
〈委員〉森 貴尉／小牧 一美／小西 孝司
／山崎 直規／新野 富美夫

議会改革・広報広聴特別委員会

〈委員長〉赤淵 義誉
〈副委員長〉川本 航平
〈委員〉藤木 猛／國枝 敏孝／石田 清造
／西村 弘樹

【組合議会】

湖南広域行政組合議員
高田 正司／小牧 一美／赤淵 義誉／西村 弘樹
守山野洲行政事務組合議員
石田 清造／今江 恒夫／藤原 浩美

その他の委員会

市議会だより編集委員会

〈委員長〉今江 恒夫
〈副委員長〉福井 寿美子
〈委員〉小牧 一美／渡邊 邦男／
酒井 洋輔／川本 航平

会派の状況

■新政会(7名)

会 長 新野 富美夫
副 会 長 筈井 昌彦
幹 事 長 石田 清造
政 調 会 長 田中 尚仁
副政調会長 今江 恒夫
会 計 西村 弘樹
監 査 赤淵 義誉

■翔政会(3名)

会 長 小西 孝司
幹事長 酒井 洋輔
会 計 藤木 猛

■ネットワーク未来(3名)

会 長 森重 重則
副会長・会計 福井 寿美子
幹事長・政調会長 國枝 敏孝

■日本共産党議員団(2名)

会 長 小牧 一美
会 計 藤原 浩美

■自由民主党(2名)

会 長 森 貴尉
会計・顧問 高田 正司

■公明党(1名)

会 長 山崎 直規

■無所属

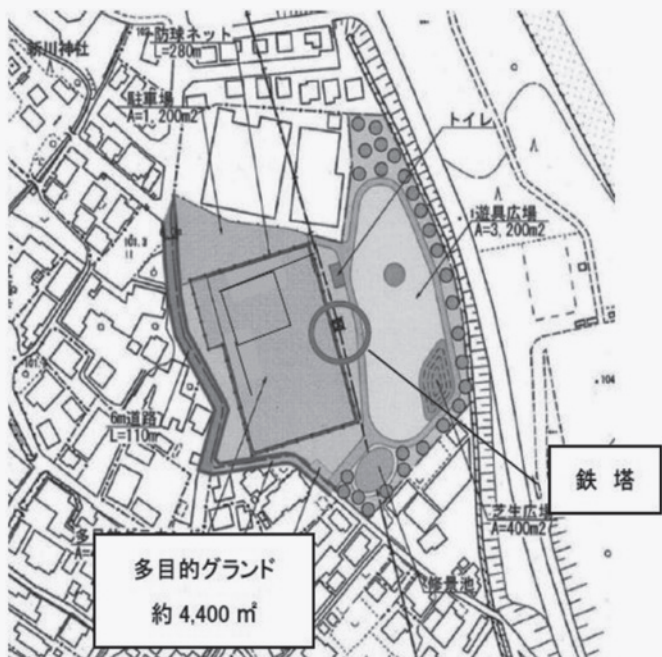
渡邊 邦男
川本 航平



環境生活都市経済常任委員会

都市計画公園・立入公園の整備

「野洲川の豊かな水と緑を活かしたスポーツ・交流・憩いの場」として、今後、市民の皆さまや地域の皆さま等の意見を踏まえ、整備イメージや整備計画を含む基本計画を策定し、暫定整備と全体整備を進めるとの説明があった。



※この配置図は測量を行う前のイメージ図です。今後、地元の皆さまの意見をお伺いする中で具体的な施設配置を決定するとの説明があり、整備内容や数値は変更になる可能性があります。

主なスケジュール

令和3年度末まで	現地測量、公園の基本計画とりまとめ
令和4年度	用地測量、事業認可申請、基本設計業務発注
令和5年度春頃	スポーツ広場暫定供用開始

議員からの意見

隣接する住民の環境が変化するとと思われる。丁寧な説明を心がけること。

議員からの意見

今まで東口スポーツ広場を使用していた子ども達や各種団体にも配慮をした設計にすること。

令和3年度守山市一般会計補正予算

◆ 総務費 デマンド乗合タクシー運行補助金の増額補正150万円が可決 ◆

デマンド乗合タクシー「モーリーカー」がさらに便利に！

議員からの質問

- ◎ 登録者数・利用者数の推移は。
⇒ A 前年同月に比べ20%増、利用件数は29件でした。
◎ 目的地はどこが追加されたのか
⇒ A ワクチン集団接種会場となっていた市民体育館と防災センターです。

議員からの意見

利用者数が増えているのは良い事だが、今後も見据えて取り組んでいただきたい。

◆ 新型コロナウイルス感染症対策費の補正 ◆

住宅・店舗・施設改修助成金の増額補正1,300万円が可決

新型コロナウイルス感染症による市内経済への影響緩和、新たな需要創出による個人消費の拡大および消費喚起により、地域経済の活性化を図ることを目的として、住宅・店舗・施設改修工事を行った住宅・店舗・施設の所有者等に対して助成金を交付。

議員からの質問

- ◎ 住宅・店舗・施設改修において、該当物件の築何年等の縛りはあるのか。
⇒ A 築年数の縛りはありません。

総務常任委員会

市ホームページ全面リニューアルへ

(委員会協議会)

守山市では、自治体DX推進計画に基づき公共施設予約システムの導入やビジネスチャットの利用など、ICTを活用した市民の利便性の向上、職員の「働き方改革」を進めていく。そのような中、本市のホームページをクラウド型のホームページ作成支援システムにより、市政情報の発信を行っていくが、「必要な情報を取得するのに時間がかかる」「システムが使いづらい」という声が多数あり、また、スマートフォンの急速な普及により閲覧環境が大きく変化していることから、新しいシステムに入れ替え、HPの全面リニューアルを行う予定との説明があった。

議員からの
意見

市民が検索しやすい、
見やすいHPを運用し
てもらいたい。

主なスケジュール

令和3年12月定例会	HPの全面リニューアルについて説明
令和4年1月～5月	HPシステム仕様策定
令和4年6月～7月	プロポーザル方式にて業者決定・契約
令和5年3月定例会	令和5年度当初予算案提案
令和5年10月	新HP運用開始



文教福祉常任委員会

守山市育英奨学条例の一部を改正する条例

国の給付型奨学金を受けていて経済的理由により就学が困難な学生に対して、守山市が創設する「返還免除型奨学金」をさらに上乗せし必要な改正を行う。

- ・現行の奨学金を貸与型奨学金とし、返還免除型奨学金を創設する。
- ・貸与型奨学金の額を **月額27,000円** から **月額30,000円** に増額

【制度概要(抜粋)】

- ・返還免除型奨学金を受ける学生は
(ア)大学等に進学希望・在学している者
(イ)市内に3年以上住所を有する者の子等または児童養護施設に入所者等
(ウ)大学等における修学の支援に関する法律に定める学資の支給を受けている者
- ・学校長の推薦調書をそえて教育委員会に願書提出
- ・学業、スポーツまたは文化芸術等の成績が優秀である等、規則で定める基準に基づき選考委員会により決定する。

- ・返還免除型奨学金の額は **月額30,000円** とし、年2回に分けて支給する。
- ・卒業後1年以内に守山市内に住所を有すること等規則で定められる基準を満たす者は申請を行い、審査を経て返還免除の決定を受けなければならない。

議員からの
意見

審査方法のスポーツ、文化芸術等の基準を明確に。併せて選考から外れる者が極力でないようにすべき。

守山中学校駐輪場増設等工事

令和4年4月から生徒数の増加が見込まれるため、駐輪場の増設工事 **1,177万円** を行う。

子育て世帯への臨時特別給付金事業費の補正

高校生までの子どもがいる子育て世帯への支援として支給する臨時特別給付金について、1人あたり **10万円** を一括支給するため増額補正 **8億2,571万円**

子育て支援対策特別委員会

子どもの貧困対策について

守山市の子どもの貧困対策の基本的考え方

生まれ育った家庭の経済問題に留まらず、子どもの生活習慣、健康問題、学習意欲の低下、相談できる人がいない、居場所がないなど、社会的孤立、虐待やDV問題等、子どもが困難を抱えやすい、支援を求めにくい状況を子どもの貧困ととらえる。

● ● 今後の取り組み ● ●

子どもの貧困問題は、多岐にわたり課題を一つひとつ解決していくための支援が必要になる。ヤングケアラー等の社会的課題についても取り組みを進めていく必要がある。庁内各部署、関係機関等と連携し、家族全体をまるごと支援する視点を持って取り組んでいく。

議員からの意見

- 市内の子どもの実態の把握をどうするかが大事。
- 市内の子どもの貧困の実態はどうか。
- 支援の場に来られない人にも対応ができる必要がある。
- 子ども食堂など地域の活動に来れない人たちの発見できるような体制の充実を図るべき。

子どもの虐待防止の取り組みについて

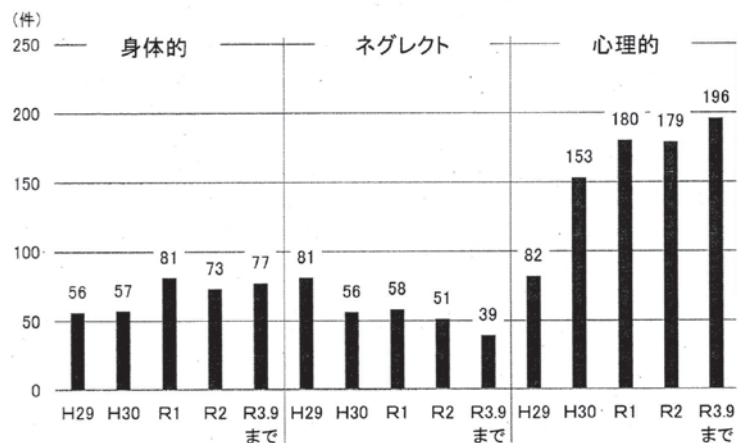
守山市の子どもの虐待の考え方

家庭児童相談、児童虐待相談ともに増加傾向となっている。コロナ禍の閉じこもりにより、虐待が見えにくくなっている一方、閉塞感や育児疲れ、経済的影響などが直接的虐待や心理的虐待として表れているので、対策が必要と考える。

● ● 今後の取り組み ● ●

令和2年4月より、「子育て応援室」を設置し、子育て支援、虐待防止・早期把握・対応強化に努めている。

虐待種別件数の推移（虐待相談の内訳）



議員からの意見

- 子どもの声を聴ける場所が必要。子どもが心許して話ができる大人の存在が必要。
- 個別ケースの検討会議は、どれくらいの頻度で行っているのか。
- ヤングケアラーの実態の把握は8件とのこと。情報をキャッチした後、どのように対応しているのか。
- 公的な支援があることを家庭に伝える必要がある。
- 相談を受ける側の体制強化を。
- ヤングケアラーへの支援体制を強化することが必要。親への子育て相談を通して、精神的負担を軽減するための支援をしっかりとすることが必要。

公共施設調査特別委員会

11月19日および12月10日、委員会を開催。今後の調査研究の分類としてファシリティーマネジメント、アセットマネジメントに分けて取り組む。

ファシリティーマネジメント（公共施設の長寿命化）

- 庁舎完成後のすこやかセンターの後利用について
※福祉分野の事務部門が新庁舎完成後、移転。
- 学校施設、北公民館の課題について調査研究取り組み

アセットマネジメント（インフラ整備の維持管理）

国土強靱化の中で重要なインフラ整備のうち、下記の3項目について調査研究を行う。

- 道路河川
- 上下水道
- 橋梁



議員からの
意見

市内の学校施設、学習環境の格差の解消に取り組んで行く必要がある。

議会改革特別委員会

広聴機能の拡充

「市民と双方向で行政施策について議論できる環境づくり」のための第一歩として、市民対話型のイベントを早期に開催する。

委員会では、先行事例をもとに作成した具体案をもとに、各議員から意見やアイデアが出された。

議員からの
意見

- 完璧なものを目指して進まないよりは、まず、やってみることが大切。
- グループワーク形式は良い。第一回は、中高生に絞って行くと良いのではないかな。
- テーマ設定が重要。市の将来像について自由に語るような形はどうか。
- 議会や議員の活動を紹介するなど、基礎的な情報をはじめに伝えることも必要ではないかな。

議会のICT化

2023年9月には新庁舎で議会が開始される予定であることから、まずは新庁舎でのICT化を念頭に、具体的に議論する。

委員会では、ICT化の方向性と、今後の協議内容について確認した。



議員からの
意見

- 原則タブレットを使用することに問題はないが、紙の方が使いやすい場面もあるのではないかな。
- 市職員にもタブレットでの説明を求める。使用するソフトウェア等も含め、次回までに検討してもらいたい。